

# 新清水庁舎 建設検討通信



現在、再整備計画を進めている清水庁舎の検討状況についてお知らせしていくためのニュースレターです。ぜひお手にとってお読みください。

## 新清水庁舎建設基本計画の策定がスタートしました

平成29年度にパブリックコメントを経て策定・公表した「基本構想」をもとに、平成30年度は、より詳細な庁舎整備の方針や考え方を示す「基本計画」を策定していきます。

6月7日(木)には、平成30年度第1回目となる「新清水庁舎建設検討委員会」を開催し、次のような内容について報告を行ったほか、庁舎の機能などについて議論を行いました。

### 報告事項

#### ◆パブリックコメントで頂いた市民意見への対応について

「基本構想」のパブリックコメントに頂いた意見については、全てを検討したうえで種類ごとに分類し、11項目44件を基本構想に反映し、63項目345件を基本計画の中で、18項目82件を清水港臨海部グランドデザインの中で検討することにしました。

#### ◆海洋文化都市推進本部が進める取り組みについて

平成30年度より新設された「海洋文化都市推進本部」より、国際海洋文化都市を目指す清水の将来のまちづくりのビジョンとして「清水港臨海部グランドデザイン」を2019年に公表することが報告されました。新清水庁舎もこの計画の中のひとつとして位置付けていきます。

### 協議事項

#### ◆基本計画の策定スケジュールについて

・平成30年度に策定する「基本計画」は、平成30年10月までに素案を作成し、パブリックコメントを経たのち、**年内に公表する**というスケジュールを示しました。

#### ◆敷地条件の整理について

・建設予定地の「清水駅東口公園」の土地をどのように利用していくか、どのように建物を配置していくかということを①津波防災、②回遊性、③景観の3つのポイントから議論しました。

#### ◆新庁舎の機能について

・まちづくりの観点から庁舎に求められる**具体的な機能**について、他都市における具体的な事例を示し議論しました。

#### ◆新庁舎の規模の考え方について

・新庁舎の規模について、基本構想において示している**最大14,000㎡(ピロティ部分除く)**について、①区役所・庁舎としての執務機能、②市民が利用する機能、③必要な諸室機能などの**庁舎に必要な機能を詳細に検討していきながら規模設定の精度を高める考え方**について議論しました。

### 委員から出た主な意見

・庁舎の計画は建物(点)の議論ではなく、まちづくり(面)の観点から考えてほしい。

・津波からの一時避難のために、あえて津波浸水想定区域内に浸水しない場所を作っていくことが重要である。

・敷地周辺の道路について東西交通や自転車のアクセスについても配慮してほしい。

・庁舎に必要な機能をしっかり決めてから庁舎規模を設定すべき。

・現時点だけでなく数十年先の将来を見据えた視点で計画してほしい。

## 今後の予定について

- 第2回 新清水庁舎建設検討委員会 平成30年7月19日(木) 10:00~ 葵消防署5階 53会議室
- 第3回 新清水庁舎建設検討委員会 平成30年9月11日(火) 10:00~ 清水庁舎3階 313会議室

どなたでも傍聴が可能です。直接会場へお越しください。(全5回予定)

議事録等を各区役所に設置するほか、ホームページへも掲載していますのでそちらも併せてご覧ください。  
清水庁舎のあり方についてのホームページ [http://www.city.shizuoka.jp/153\\_000026.html](http://www.city.shizuoka.jp/153_000026.html)

**あなたのご意見・ご感想をお寄せください** 静岡市企画局アセットマネジメント推進課

